

(注) 本犯罪事件資料は、主に新聞等の報道、公開情報等を基に当館が独自に集計したものであり、マダガスカル政府機関の公式統計ではありませんのでご了承ください。

犯罪事件発生状況（2019年4月期）

在マダガスカル日本国大使館

【マダガスカル全土における犯罪事件発生状況】※公開情報

	2019年4月の 発生件数	2018年4月の 発生件数	前年同月比
武装強盗	62件	63件	減少
殺人事件	33件	64件	減少
誘拐事件	9件	5件	増加

2018	JAN	FEV	MAR	AVR	MAI	JUIN	JUIL	AOU	SEP	OCT	NOV	DEC
武装強盗	79	68	89	63	73	83	53	110	64	72	78	65
殺人事件	54	47	74	64	64	59	59	70	36	53	33	52
誘拐事件	10	9	6	5	7	13	18	4	8	12	10	17
傷害事件	51	35	67	59	77	66	43	55	40	56	35	47

2019	JAN	FEV	MAR	AVR	MAI	JUIN	JUIL	AOU	SEP	OCT	NOV	DEC
武装強盗	69	70	72	62	—	—	—	—	—	—	—	—
殺人事件	40	35	29	33	—	—	—	—	—	—	—	—
誘拐事件	8	29	16	9	—	—	—	—	—	—	—	—
傷害事件	32	34	27	35	—	—	—	—	—	—	—	—

【アンタナナリボ周辺地域で発生した事件】※公開情報

- (1) 1日、アンブイバオ地区（Ambohibao：首都中心部より約11km西）にて、武装強盗が住居を襲撃、住人が憲兵隊に通報したため、何も盗まず逃走した。
- (2) 2日、アンペフィルハ地区（Ampefiloha：首都中心部より約4km西）にて、ヘロインを所持していた大学生が警察官に逮捕された。
- (3) 4日、アンブイプチ地区（Ambohipotsy：首都中心部より約3km東）にて、窃盗犯が2人の旅行客を襲撃、現金52万アリアリと携帯電話とパソコンを強奪して逃走した。

- (4) 8日、アナラケリー地区 (Analakely : 首都中心部) にて、偽のジャーナリストが、誘拐する人を決めるため会議に紛れ込んだところ警察に発覚し逮捕された。
- (5) 8日、アンパシカ地区 (Ampasika : 首都中心部より約8 km西) にて、2人の窃盗犯が渋滞で混雑している歩行者を襲撃したところ警察官に逮捕された。
- (6) 10日、マヒチ (Mahitsy : 首都中心部より約25 km西) にて、強盗が銀行から現金1億アリアリの入った袋を強奪し逃走した。
- (7) 11日、アンカシナ地区 (Ankasina : 首都中心部より約5 km西) にて、武装強盗が住居を襲撃、住人を負傷させたほか、貴金属を強奪して逃走した。
- (8) 12日、マヒチ (Mahitsy : 首都中心部より約25 km西) にて、武装強盗がバリケードで道を封鎖したタクシーブルー (長距離乗り合いバス) を襲撃、乗客の現金5000万アリアリを強奪して逃走したが、通報を受けた憲兵隊が駆けつけ対応し、1500万アリアリを回収した。
- (9) 13日、アンブイマンガケリー地区 (Ambohimangakely : 首都中心部より約10 km東) にて、武装強盗が現金輸送車を襲撃、駆けつけた憲兵隊が銃撃し、強盗2人が死亡した。
- (10) 13日、アンバトランピ (Ambatolampy : 首都中心部より約70 km南) にて、武装強盗が住居を襲撃、現金300万アリアリを強奪して逃走した。
- (11) 14日、イタオシ地区 (Itaosy : 首都中心部より約10 km西) にて、窃盗犯が歩行者を襲撃、携帯電話を強奪し逃走したが、周囲の人に取り押さえられ逮捕された。
- (12) 15日、イヴァト地区 (Ivato : 首都中心部より約20 km西) の空港にて、偽造旅券にてモーリシャスへ出国しようとした3人が警察官に逮捕された。
- (13) 19日、アンボイジャナカ地区 (Ambohijanaka : 首都中心部より約15 km南) にて、インド人誘拐等の主犯格の人物が警察に逮捕された。この犯人は、3年に渡り複数の誘拐を指示してきた。
- (14) 19日、アヌシパチャナ地区 (Anosipatrana : 首都中心部より約8 km西) にて、63gの麻薬を違法に所持していた男が警察官に逮捕された。
- (15) 20日、アンクラウチャ地区 (Ankorahotra : 首都中心部より約4 km東) にて、警察官が盗難車を発見し、盗んだ犯人を逮捕した。
- (16) 21日、アナラマイチ地区 (Analamahitsy : 首都中心部より約8 km北) にて、スクーターに乗った窃盗犯が歩行者を襲撃したが、周囲の人に追いかけられ、確保された。
- (17) 25日、アンピタタフィカ地区 (Ampitatafika : 首都中心部より約9 km西) にて、武装強盗が住居を襲撃、住人が抵抗し強盗の武器で銃撃し強盗を銃殺したため、その他の強盗は何も盗まず逃走した。
- (18) 25日、ソワソンセットヘクター地区 (67ha : 首都中心部より約5 km西) にて、窃盗犯が歩行者を襲撃、被害者がその場で助けを求め警察官が駆けつけ、犯人は逮捕された。

- (19) 26日、アンバニディア地区 (Ambanidia : 首都中心部より約3 km東) にて、違法な麻薬を所持していた人が警察官に逮捕された。
- (20) 27日、イヴァト地区 (Ivato : 首都中心部より約20 km西) の空港にて、所有者不明のモーリシャス行きの鞆の中に亀が入っているのが発見された。
- (21) 28日、アンズズルベ (Anjozorobe : 首都中心部より約80 km北) にて、ダハロが村を襲撃、牛128頭を強奪して逃走したが、憲兵隊と村人が追いかけて、牛31頭を取り戻した。

【マダガスカル全土で発生した事件】※公開情報

- (1) 1日、トアマシナ (Toamasina : 首都中心部より約350 km東) にて、武装強盗が被害者を襲撃、現金1600万アリアリの入った鞆を強奪して逃走した。
- (2) 2日、アンツィラベ (Antsirabe : 首都中心部より約150 km南) にて、2018年に脱獄した囚人が巡回中の警察官に逮捕された。
- (3) 2日、マエバタナナ (Maevatanana : 首都中心部より約250 km北西) にて、武装強盗が住居を襲撃、貴金属を強奪したが、駆けつけた警察官に逮捕された。
- (4) 3日、チャララナ (Tsaralalana : 首都中心部より約300 km西) にて、窃盗犯が被害者を襲撃、現金を強奪したが、被害者が大声で叫び、窃盗犯は逮捕された。
- (5) 6日、マルアンテェチャ (Maroantsetra : 首都中心部より約500 km北東) にて、強盗が警察官に逮捕され取調中に死亡した件に対し、住民の不満が爆発し警察署に発砲するなどして1人の犠牲者が発生した。
- (6) 9日、マルアンテェチャ (Maroantsetra : 首都中心部より約500 km北東) にて、6人の囚人が刑務所から脱獄し逃走した。
- (7) 9日、イカラマブニ (Ikalamavony : 首都中心部より約450 km南) にて、ダハロが村を襲撃、牛を強奪して逃走した。
- (8) 10日、アンチラナナ (Antsiranana : 首都中心部より約900 km北) にて、武装強盗が外国人を襲撃、鞆を強奪したが、駆けつけた警察官に逮捕された。
- (9) 11日、マルアンテェチャ (Maroantsetra : 首都中心部より約500 km北東) にて、9日に脱走した囚人4人が警察官に逮捕された。
- (10) 13日、アンバンジ (Ambanja : 首都中心部より約930 km北) にて、100 kgの薬物を所持していた3人が警察官に逮捕された。
- (11) 19日、セントマリー (Saint Marie : 首都中心部より約560 km北東) にて、40 gのヘロインを違法に所持していたアフリカ人が警察官に逮捕された。
- (12) 19日、トアマシナ (Toamasina : 首都中心部より約350 km東) にて、窃盗犯が通行人を襲撃、通行人が助けを求め、周囲にいた人々に取り押さえられ暴力を受け、窃盗犯は死亡した。

- (13) 20日、ムラフェヌベ (Morafenobe : 首都中心部より約600km西) にて、ダハロが村を襲撃、牛を強奪して逃走した。
- (14) 20日、ツィルアヌマンディディ (Tsiroanomandidy : 首都中心部より約180km西) にて、ダハロが村を襲撃、牛を強奪して逃走した。
- (15) 23日、トアマシナ (Toamasina : 首都中心部より約350km東) にて、南アフリカからセントマリー経由で輸入されてきた車からヘロインが発見された。発見されたヘロインは、モーリシャスやレユニオンに送られる予定であった。
- (16) 24日、トアマシナ (Toamasina : 首都中心部より約350km東) にて、6人の武装強盗が店舗を襲撃、店内にいた女性を負傷させたほか、貴金属を強奪して逃走した。
- (17) 27日、トアマシナ (Toamasina : 首都中心部より約350km東) にて、武装強盗がバイクを窃盗、持ち主が被害届を提出し、強盗は警察官に逮捕された。